

2020年度clubゆりの樹 放課後等デイサービス自己評価

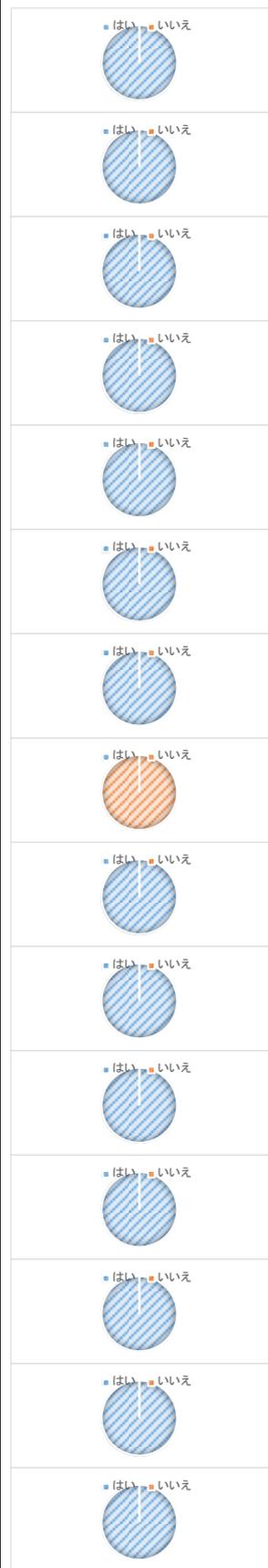
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	(1) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			定員10名の基準を適切に満たしている。	
	(2) 職員の配置数は適切であるか	4			人員基準を適切に満たしている。	
	(3) 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			4	該当児童は現在いないが、必要時対応していく。	
業務改善	(4) 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			スタッフ全員がケア会議やミーティングに参加しており、目標設定や振り返り等情報共有をおこなっている。	
	(5) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			アンケート回収後に結果を確認し、スタッフ間で内容を把握し、改善に繋がるよう取り組んでいる。連絡帳などを通して要望があった場合も職員間で共有している。	
	(6) この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページにて公開している。	
	(7) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	現在、第三者評価を行っていない。今後検討していく。	
	(8) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			毎月、放課後等デイサービスで必要とされる事柄について研修を行っている。入社時に個別の研修も行っている。	
	(9) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			6ヶ月に一度保護者とのやり取りや面談を行い、現在の状況や課題について情報を共有し、作成しています。	
	(10) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			アセスメント書式をつくり、それにそって作成している。	
	(11) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			毎月カリキュラム表を作成し、ねらいやアレンジについてチームで話し合っている。	
適切な支援の提供	(12) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			それぞれの担当者が話し合い、カリキュラムが同じものの繰り返しにならないよう工夫している。	
	(13) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			平日、休日に分けて時間割を作成し、利用時間の長い学校休業日にできるカリキュラムなど、内容も工夫している。	
	(14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			児童の特性を考慮した支援を計画し、それを元に個別の活動と集団での活動を組み合わせる計画を作成している。	
	(15) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝礼時にその日の利用児童の最近の様子など情報を共有し、打ち合わせをしています。	

関係機関や保護者との連携	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			終礼時に児童の様子や気付いたことをケア記録などに記入し、共有しています。		
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			サービス提供、ケア記録入力時など、客観的に記録している。それをもとにそれぞれの目標にあった支援方法やその改善について検討している。		
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			最長6か月に1回モニタリングを行っている。		
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4			日々のカリキュラムに取り入れて活動している。		
	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			要請がある場合、支援を直接しているスタッフが参加し、意見をだしています。		
	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			新規の学校への挨拶や、担任の先生との連携、毎月の下校時刻の確認や、送迎時に情報共有をするなど、適切に行っています。		
	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			医療的ケアが必要な児童など該当はないが、事前に保護者とかかりつけの病院や主治医について確認をとり、対応方法についてまとめ、書面にしています。		
	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		保護者を通して情報共有を行っているが、現在、新型コロナウイルスの影響で直接の情報共有ができなくなっている。		
	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		3	該当児童は現在いないが、必要時には情報提供を行う。		
	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			直接的な連携はないが、千葉県発達障害者支援センター主催のオンライン研修に参加している。		
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		3	新型コロナウイルスの影響で交流をする機会がなくなってしまうが、落ちついたら交流する機会を増やしていきたい。		
	(27)	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4			八千代市の事業所連絡会へ参加し、現在はオンラインミーティングを行い意見交換に参加しています。		
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帳や面談時に家庭や学校からの情報について共有し、課題や発達状況について共通理解を図っています。		
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			送迎時などの場で児童の状況を共有し、対応策について話しをしている。サービス利用中うまくいった、いかなかったなど対応についても保護者と共有をしている。		
	保	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約の際に書面を使い丁寧に説明している。	
		(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			送迎時や必要の際は面談を行い悩み事や困りごとについて助言や支援を行っています。	
		(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		2	以前には茶話会を開き、保護者同士の連携を支援していたが、新型コロナウイルスの影響で現在は休止している。	

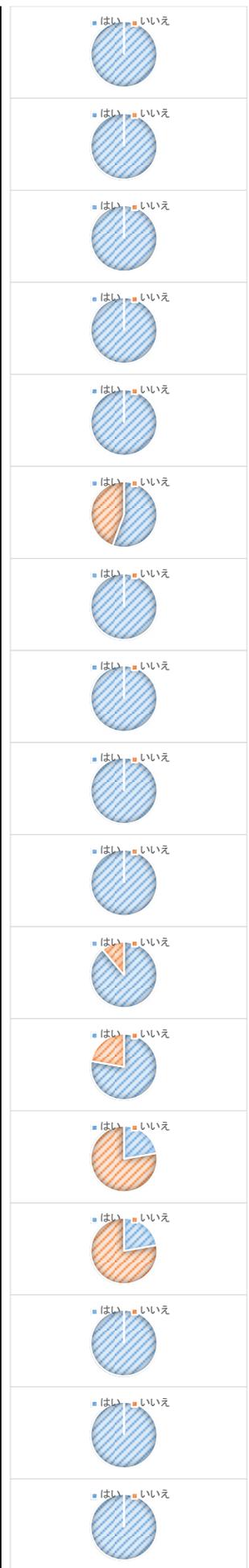
護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			保護者への情報伝達や連携を通し、スタッフと信頼関係を築けるよう努めています。その上で苦情があった場合には管理者が迅速に対応しています。	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			会報としての発行はないが、SNSを通して活動についてお知らせしている。行事予定や避難時の連絡などについては書面でお伝えしている。	
	(35)	個人情報に十分注意しているか	4			勤務時間外の会話も含め、個人情報の漏洩にならないよう定期的に研修などを通し意識付けを行っている。書類に関しては鍵のかかるキャビネットに保管している。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			わかりやすく文書を作成し、配布するなど、障害特性あわせ、適切な対応をしている。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	以前は地域住民に開かれたイベントや、研修を開催していたが、現在は新型コロナウイルス感染症の影響のため行っていない。	
非常時の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			地震・火災に対する緊急マニュアルや、時節の感染症・食中毒等への対応マニュアルを策定している。また、保護者向けの書面も配布している。	
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年2回の避難訓練（地震、火事）、備蓄品の管理を行っている。	
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			管理者が外部で受けた研修内容を、スタッフ全員に伝達研修を行い、適切な対応を徹底している。また、年1回以上は毎月の研修のテーマとして行っている。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス書面に記載しているか	4			放課後等デイサービス計画に明記されている。研修でも状況を想定して共有を行っている。	
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			おやつやお弁当に関しては保護者の用意したもののみとしている。提供している麦茶などに関しては確認をとっている。調理実習の際には書面にて確認をとっている。アレルギーのショック反応に対する対応を緊急時対応として研修を行った。	
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハット集を作成し、法人内での事例に関しても似たケースが起こりうるものは研修にて共有を行っている。	

2020年度clubやちよ 児童発達支援自己評価

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	(1) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		利用定員、設備基準を満たしており、適切である。運動するのに十分な広さを確保している。
	(2) 職員の配置数は適切であるか	9		規定を満たしており、人員基準プラス加配配置しており、適切である。
	(3) 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。	9		わかりやすく構造化した視覚的支援や掲示をおこなっている。
	(4) 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		発達段階にあわせた補助便座や手洗い用の踏み台など用意している。新型コロナウイルス感染予防対策の徹底も行って、環境整備ではアルコール消毒等を行い清潔を維持し、定期的な換気もやっている。
業務改善	(5) 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9		毎日朝礼にて業務改善に向けた段取りや配慮すべき点について共有し、終礼時には振り返り、改善への取り組みを話し合い、記録している。
	(6) 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	9		保護者アンケートと事業者自己評価を実施して集計し、当社ホームページにて公表している。
	(7) 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページで公開しているか。	9		多機能型事業者として自己評価を行い、その結果による支援の質の評価をホームページ等で公開している。
	(8) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		9	第三者による外部評価は行っていない。
	(9) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		研修計画のもと、児発・放デイ事業所合同にて毎月研修を実施している。今年度は感染症予防対策のため、オンラインにて実施している。千葉県発達障害者支援センターCAS主催のオンライン研修にも参加している。
適切な支援の提	(10) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		保護者との面談、定期的なモニタリングを含め、アセスメントを行い、個別にケア会議を開催して、課題の抽出・分析を行い、目標・支援内容を作成している。
	(11) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		標準化されたアセスメントツールを使用している。
	(12) 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	9		子どもの支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を設定している。
	(13) 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9		児童発達支援計画に沿った支援を実施している。
	(14) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		常に新たなカリキュラムの立案をチームで行っている。
	(15) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		活動プログラムが固定化しないよう、児童の成長や興味関心を引出せるアレンジ等工夫している。



供	(16)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9		基本的に集団活動の中で本人の特性に応じて計画書の目標、支援内容を作成している。実施時の活動内容は、個別で行うものや集団で行うものを合わせて実施している。	
	(17)	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		朝礼時、送迎も含め支援内容や役割分担、注意・配慮すべき事項について職員間で共有、打ち合わせをしている。	
	(18)	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		終礼時、その日の振り返り、今後の課題や注意すべき点など共有し改善へ取り組んでいる。画像と文章で記録を残している。	
	(19)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		終礼後、業務日報、サービス提供記録等入力している。モニタリング時、記録の内容を振り返り、分析、評価に繋げている。また事実を客観的に正しく記録するよう徹底している。	
	(20)	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		定期的（年2回以上）にモニタリングを実施し、計画書の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	(21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	4	セルフプランが多く、相談支援事業所との関わりが少ない。担当者会議が行われる場合は、参画する準備はある。	
	(22)	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		必要時、関係機関（障害者支援課、子ども相談センター、ことばと発達相談室など）と連携を行っている。	
	(23)	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9		該当する児童の利用はないが、受け入れの際は連携した支援を行っている。	
	(24)	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9		該当する児童の利用はないが、連絡体制を整え準備している。	
	(25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		該当する児童がいる際には情報共有、相互理解を図り、移行支援を行っている。	
	(26)	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	該当する児童がいる際には情報共有、相互理解を図り、移行支援を行っている。	
	(27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2	新型千葉県発達障害者支援センターCASの研修に参加している。新型コロナの影響で直接参加できないが、オンラインで参加している。現在は新型コロナの影響により行っていないが、八千代市児童発達支援センターと連携を図り体験研修に参加させて頂きたい。	
	(28)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	7	障がいのない子どもと活動する機会はない。新型コロナウイルス感染拡大の影響が終息したら、取り組んでいきたい。	
	(29)	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	7	自立支援協議会は有識者のみ参加となっているため、参加できていない。八千代市の児発・放デイの事業所連絡会に参加している。（責任者がオンラインで参加）	
	(30)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		送迎時にその日の様子を伝え、共通理解を図っている。サービス提供記録や活動時の写真等をHUGマイページより閲覧できるようにしている。	
	(31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9		個別面談等を通して支援を行っている。以前は保護者同士の交流や情報共有の場として茶話会開催や保護者と学ぶ場として講演会を開催していたが、コロナ感染拡大の影響により開催できていない。	
	(32)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		契約時又は必要時、保護者に書面を提示し、丁寧に説明を行っている。	



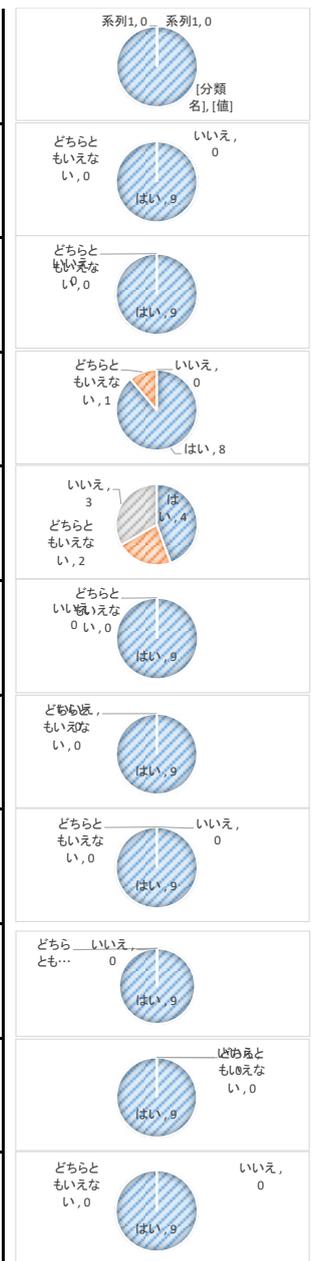
保護者への説明責任等	(33)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		児童発達支援計画の支援内容を説明し、同意を得ている。またコピーを渡し共通理解に努めている。	
	(34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		保護者援助に関して必要な助言・支援ができるよう組織として適切に対応している。家庭での様子についても共有している。	
	(35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	6	定期的な茶話会開催や保護者参加イベントを開催していたが、コロナの影響により実施出来ていない。	
	(36)	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		迅速かつ適切に対応できる体制を整え、対応している。	
	(37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		新型コロナウイルス感染症予防対策等、厚生労働省や県からのポスターなどを配布し、情報提供を行っている。避難訓練など、実施する場合には保護者へ文書でお知らせしている。	
	(38)	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	9		契約時説明を行い、研修項目にも必ず取り入れ、個人情報の取り扱いに十分配慮している。写真等の取り扱いにも保護者に確認を行っている。	
	(39)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		児童を含め保護者に対しても分かりやすく伝えられるよう配慮をしている。必要時には連絡し個別に対応している。	
	(40)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	講演会や地域イベントなどを開催し、地域住民に啓発など取り組んでいたが、コロナの影響により実施できていない。	
非常時等の対応	(41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9		ルーム内に防災計画など掲示し、避難訓練を行う際は、保護者にその都度、文書でお知らせしている。緊急時対応や感染症予防対策マニュアルを策定し、シミュレーション研修など行い周知徹底を図っている。	
	(42)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		避難訓練を年2回行い、実施前には保護者に向け文書でお知らせしている。	
	(43)	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか	9		てんかん発作等服薬調整が難しいため、注意配慮すべき点な保護者と密に連携をはかり状態の確認を行っている。	
	(44)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	サービス提供時間内では食事の提供は行っていない。麦茶の提供のみ実施。	
	(45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		ヒヤリハット事例集を作成し、共有を図り、対応等改善に努めている。	
	(46)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		責任者が虐待防止・権利擁護研修に参加している。伝達研修により職員間で共有し適切に対応している。	
	(47)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9		やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、児童や保護者に十分に説明し了承を得て計画書に記載し実施している。常に見直しを検討している。	

2020年度clubやちよ 放課後等デイサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・ 体制整備	(1) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			設備基準を満たしており適切である。適切に活動できるスペースがある。	
	(2) 職員の配置数は適切であるか	9			10人定員に対して人員基準に加え、加配配置をしており、適切である。	
	(3) 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			多少の段差はあるが、特に問題なく適切である。段差がある場所に関しては声掛けをし注意喚起している。	
業務改善	(4) 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9			毎日朝礼にて業務開始に向けた段取りや配慮すべき点など共有し、終礼時には振り返り、改善への取り組みを確認している。	
	(5) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			年一回保護者アンケートを実施し、スタッフ間で保護者の意向等を把握し、業務の改善に繋げている。日々連絡帳などを通して保護者と連携を図っている。	
	(6) この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			保護者アンケートと事業者自己評価を実施して集計し当社ホームページにて公開している。	
	(7) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			9	第三者による外部評価は行っていない。保護者からのアンケートをもとに改善を図っている。	
	(8) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			年間研修計画のもと、児発・放デイ事業所合同にて毎月研修を行っている。今年度は感染症対策のため、オンライン研修で行っている。	
適切な 支援の 提供	(9) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			定期的にモニタリングを含め、アセスメントを行い、個別ケア会議を開催時、課題の抽出・分析をし、目標・支援内容を作成している。	
	(10) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	(11) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			療育カリキュラムや創作活動、イベント企画など役割担当を決め、チームで立案している。	
	(12) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			活動プログラムが固定化しないよう、アレンジなど工夫している。	
	(13) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			平日と休日、長期休暇ではサービス提供時間が違うため、食事のマナーや歯磨きなど日常生活動作についてチェック表など目標を設定し、活動内容を工夫している。またイベント活動など企画設定している。	
	(14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			基本的に集団活動の中で本人の特性に応じて、計画書の目標、支援内容を作成している。実施時の活動内容は、個別で行うものと集団で行うものを合わせて実施している。	
	(15) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			朝礼時、送迎も含めた支援内容や役割分担、注意・配慮すべき事項について職員間で共有、打ち合わせを行っている。	

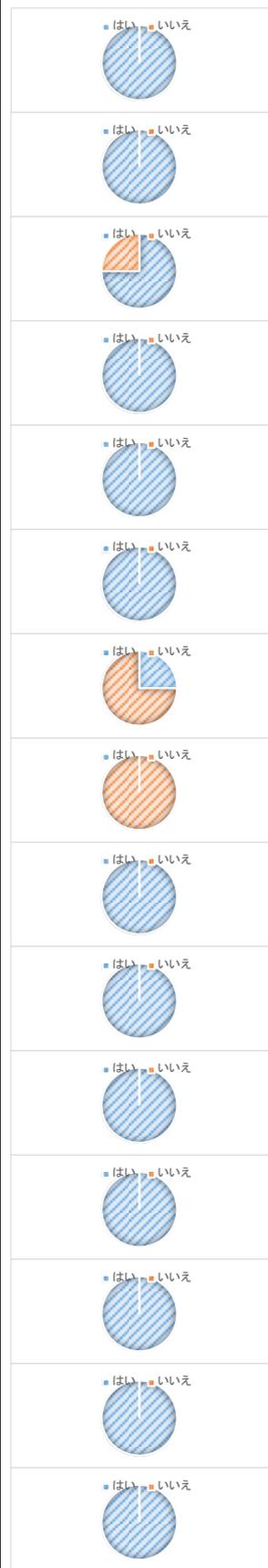
関係機関や保護者との連携	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			終礼時、その日の振り返り、今後の課題や注意すべき点など共有し改善へ取り組んでいる。		
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			終礼後、業務日報、サービス提供記録等入力している。モニタリング時、記録の内容を振り返り、分析、評価に繋げている。また事実を客観的に正しく記録するよう徹底している。		
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			定期的にモニタリングを実施しケア会議にて課題の抽出や分析を行い、計画書の見直しの必要性を判断している。		
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	9			体育・徳育・知育の3分野の活動を組み合わせ、総則に沿った活動と支援を行っている。		
	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			セルフプランが多く、相談支援事業所の関りがあっても、サービス担当者会議の参加を求められたことがない。求められた際には参加する用意がある。		
	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			学校送迎時、送迎時の対応やトラブル発生時の連絡等は行っているが、学校側の指示により行事予定や下校時刻の確認などは基本的に保護者を介して確認をしている。		
	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9			現在医療的ケアが必要な児童の利用はないが、受け入れの際は主治医との連携など体制を整える準備は行っている。かかりつけ医の確認や服薬の有無について保護者と確認をしている。		
	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			こぼとけ発達の相談室のケアワーカーなど専門職員との情報共有など連携を図っている。		
	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	1	現在、卒業などに該当する児童はいないが、移行する場合、情報共有等を行う用意はある。		
	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			今年度はコロナの影響により、児童発達支援センターの研修には参加できていないが、千葉県発達障害児支援センターC A Sのオンライン研修に職員参加している。		
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7		コロナ感染拡大の影響のため、今年度は外部との交流はできていない。公園など同じ場で交流することはある。		
	(27)	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7	2		八千代市では自立支援協議会への参加者は、有職者のみとなっており、参加できていない。児発・放デイ事業者連絡会へは責任者が参加し、コロナの影響によりオンラインで参加している。		
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			送迎時、その日の様子など状況を保護者に伝え共通理解している。必要時には電話や面談等を実施している。		
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3		個別面談等を通して支援を行っている。以前行っていた保護者の交流の場として茶話会を開催していたが、コロナの影響によりできていない。		
	保	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時及び、必要時に保護者に丁寧に説明を行っている。	
		(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			保護者援助に関して必要な助言・支援ができるよう組織として適切に対応している。家庭での様子についても共有している。	
		(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3	2	定期的な茶話会開催や保護者参加イベントを開催していたがコロナの影響により実施出来ていない。	

護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			苦情等へは迅速かつ適切に対応している。	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			次月予定表を作成し、創作、イベントを含め活動予定をお知らせしている。会報としての発行はしていないが、SNSを活用して活動内容を発信している。必要事項も文書にてお知らせしている。	
	(35)	個人情報に十分注意しているか	9			契約時に説明をし、個人情報の取り扱いに十分注意している。写真利用に際しても保護者に確認をとっている。不要になった書類はシュレッダー処分をしている。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		わかりやすく文書を作成し、配布を行っている。また、配布時に個別に説明し対応している。各児童の特性を考慮し、意思の疎通や情報伝達に配慮している。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	3	講演会や地域イベントなどを開催し、地域住民に啓発など取り組んでいたが、コロナの影響により実施できていない。	
非常時の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			ルーム内に防災計画など掲示している。避難訓練を行う際は保護者にその都度、文書でお知らせしている。緊急時対応や感染予防対策などマニュアルを策定し、研修を行っている。	
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			年間計画に沿って年2回実施している。コロナ発生時を想定した机上訓練なども行っている。	
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			虐待防止・権利擁護研修に参加している。職員間でも周知するために伝達研修を行っている。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			やむを得ず身体拘束を行う場合は組織的に決定し、児童や保護者に十分説明し、了承を得て、計画書に記載、実施している。常に見直しを検討している。	
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9			保護者に確認し、必要時主治医の指示書に基づき対応している。	
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			ヒヤリハット事例集を作成し、共有を図り、対応策等改善に努めている。	

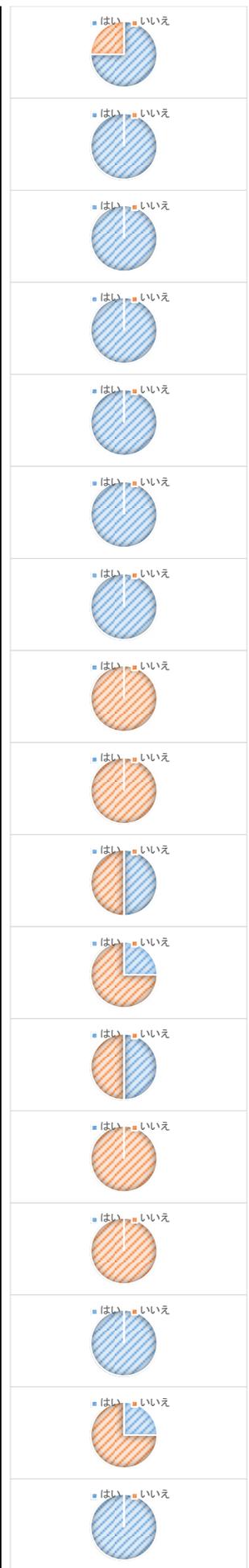


2020年度clubユーカリが丘 児童発達支援自己評価

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	(1) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		規定を満たしており適切です。
	(2) 職員の配置数は適切であるか	4		規定を満たしており、適切に配置しています。
	(3) 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。	3	1	多機能型施設のため、掲示などが混ざってしまっている箇所があるため、掲示を切り替えられるようにするなど随時、わかりやすくなるように構造化を進めている。
	(4) 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		発達段階にあわせた補助便座や手洗い用の踏み台などを用意している。 ぶつかると危険な箇所には保護カバーをつけている。
業務改善	(5) 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		児発スタッフ全員で当日の振り返りや目標への達成度などについて話し合っている。
	(6) 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	4		当クラブでは今年度より、児童発達支援事業が始まったため、今年度はじめて児童発達支援に対するアンケートを行った。今年度のアンケート結果を元に来年度は業務改善に取り組んでいく予定です。
	(7) 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページで公開しているか。	1	3	今年度より、児童発達支援事業が始まったため、児童発達支援に関しては今回から公開を行います。多機能型施設としては放課後等デイサービスについて以前より公開をしています。
	(8) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	現在、第三者機関による外部評価は行えていません。
	(9) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		児童発達支援事業、放課後等デイサービス合同で毎月研修を行っています。加えて、千葉県発達障害者支援センター主催のオンライン研修などにも参加しています。
適切な支援の提	(10) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		保護者との面談や、日々の様子の情報共有を行ったうえで、アセスメントを適正に行い、客観的な分析を行って児童発達支援計画を作成しています。
	(11) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		標準化したアセスメントツールを使用しています。
	(12) 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	4		適切な内容を選択し、支援内容を設定しています。
	(13) 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		児童発達支援計画に沿った支援を計画し、実行しています。
	(14) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		児童発達支援でチームを作り、各プログラムを作成しています。
	(15) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		定期的に題材やトレーニング内容の変更を行い、固定化されないよう工夫を行っています



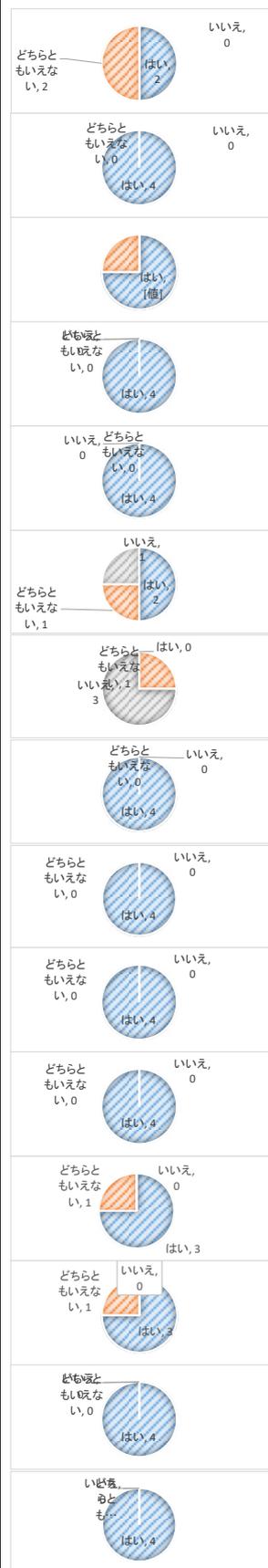
供	(16)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3	1	同時に利用する人数が1～2名のため、児童のみでの集団といえる活動はおこなえていないが、指導員を交え人数を増やして集団活動を行っている。
	(17)	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		朝礼にて打ち合わせを必ず行い、内容や役割分担について確認している。
	(18)	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		終了後には提供記録の記入時に必ず振り返りを行い、お互いに気付きなどを共有している。
	(19)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		客観的で正しい記録となるよう日々の入力時に徹底し、記録の仕方について研修も行っている。支援の検証については日々の記録を活用している。
	(20)	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		年2回以上モニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	(21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		最もふさわしいものが参加している。
	(22)	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		市の子育て支援課などと連携を取って支援を行っている。
	(23)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		4	現在は該当児童がいません。必要時行う準備はしています。
	(24)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	現在は該当児童がいません。必要時行う準備はしています。
	(25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	現在は移行する年齢の児童がいないが、幼稚園等については保護者を通じて情報共有や相互理解をすすめている。
	(26)	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	現在は該当児童がいません。必要時行う準備はしています。
	(27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	現在は新型コロナウイルス感染症のため、直接的な研修などが受けられていない。千葉県発達障害者支援センター主催のオンライン研修などには代表者が参加している。
	(28)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	現在は新型コロナウイルス感染症対策のため交流等は行っていない。
	(29)	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、協議会が開催されていないため参加できていない。
	(30)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時など家や園の様子を伺ったり、支援中の様子をお伝えすることで共通理解を図っています。
	(31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	新型コロナウイルス感染症のため、時間を長く取って行うことはできていないが、送迎時などに相談や助言をこなっている。
	(32)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		契約時に書面を提示し、丁寧におこなっている。



保護者への説明責任等	(33)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	必ず、児童発達支援計画書を提示して説明を行ってから同意をいただいています。	
	(34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	新型コロナ感染症のため、時間を長く取って行うことはできていないが、送迎時などに相談や助言をこなっている。	
	(35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	新型コロナ感染症のため、現在は行うことができていない。	
	(36)	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	適切に迅速に対応できるよう体制を整えている。	
	(37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	会報としては発行していないが、提供記録のオンライン化によって当日の様子等をお伝えしている。	
	(38)	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	4	毎年の研修項目に必ず取り入れ、個人情報の取り扱いには十分注意している。	
	(39)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	児童や保護者に分かりやすく伝えられるよう次回利用について予定をお伝えしたり、メモを直接お渡ししています。	
	(40)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	新型コロナ感染症のため、今年度は招待等は行っていません。	
非常時等の対応	(41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	それぞれマニュアルを策定し、対応については保護者へ書面でお知らせしています。	
	(42)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	多機能型施設として年2回避難訓練を行っています。	
	(43)	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	保護者との面談時に必ず確認を行っています。	
	(44)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	現在該当児童はなく、食事の提供もおこなっていません。麦茶の提供をしているため、これに関しては必ず保護者に確認を取っています。	
	(45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	事業所内および、社全体のヒヤリハットを共有し、当クラブで起こりうる事例にかんしては特に共有するようにしています。	
	(46)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	代表者が虐待防止研修をうけ、その情報を社内研修として共有し、適切に対応しています。	
	(47)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	必要性が想定される場合、必ず予め組織で決定をし、事前に説明をして了解を得た上で児童発達支援計画に記載しています。	

2020年度clubユーカリが丘 放課後等デイサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	(1) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		法令上必要な面積を確保しているが、高校生が増え、体格の変化を考えると少し手狭に感じる部分もある。
	(2) 職員の配置数は適切であるか	4			規定を満たしており、適切に配置しています。
	(3) 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		施設が大人向けに作られてあったものがあるため、改善を進めている。
業務改善	(4) 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			スタッフ全員で当日の振り返りや目標への達成感などについて話し合っている。
	(5) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者アンケート回収後に結果を確認し、スタッフ間で内容を把握し、改善に繋がるよう取り組んでいます。
	(6) この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	1	ホームページに毎年掲載している。
	(7) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	現在、第三者機関による外部評価は行っていません。
	(8) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			児童発達支援・放課後等デイサービス合同で毎月研修を行っています。加えて、千葉県発達障害者支援センター主催のオンライン研修などにも参加しています。
適切な支援の提供	(9) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者との面談や日々の様子の情報共有を行った上で、アセスメントを適正に行い、客観的な分析を行って放課後等デイサービス計画を作成しています。
	(10) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			標準化したアセスメントツールを使用しています。
	(11) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			毎月カリキュラム表を作成し、ねらいやアレンジについてチームで話し合っています。
	(12) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		似た内容になってしまうことや、実施回数が少ないものがあり、アレンジや改善を進めている。
	(13) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		平日、休日に分けて時間割を作成し、利用時間の長い学校休業日にできるカリキュラム等内容も工夫している。特に普段と異なる環境、時間の利用に関して「どこに注意するか」話しあっている。
	(14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			児童の特性を考慮した支援を計画し、それをもとに個別の活動と集団での活動を組み合わせ計画を作成しています。
	(15) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝礼時に各自の役割分担について確認している。



関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	(16)	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			終礼にて児童の様子や気づいた点などケア記録などに記録し、スタッフ間で共有しています。		
	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			客観的で正しい記録となるよう日々の入力時に徹底し、記録の仕方について研修も行っている。支援の検証については、日々の記録を活用している。		
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			年2回以上モニタリングを行っている。		
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4			ガイドラインの、地域交流について、新型コロナのために行えていない。		
	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1		相談支援事業所による担当者会議は今年はコロナの影響で行われなかった。情報交換は月1回以上は行っている。		
	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			新規の学校への挨拶や担任の先生との連携、毎月の下校時刻の確認など、送迎時に情報共有を適切に行っています。		
	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		現在は該当児童はいないが、行う用意はある。		
	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			保護者を通して情報共有を行っているが、現在、新型コロナ感染拡大の影響により直接の情報共有はできなくなっている。		
	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	現在は該当児童はいないが、行う用意はある。		
	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			直接的な連携はないが、千葉県発達障害者支援センター主催のオンライン研修に参加している。		
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	新型コロナ感染拡大の影響により交流する機会がないが、終息後交流機会を増やしていきたい。		
	(27)	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4			現在は新型コロナ感染症対策のため、協議会が開催されていないため参加できていない。		
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時など自宅での様子や学校での様子を伺ったり、支援中の様子をお伝えすることで共通理解を図っています。		
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2	「ペアレント・トレーニング」の名目の元では行っていないが、都度、保護者と時間をとって話しを聞いたり、助言や支援を行っている。		
	保	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に書面を提示し、丁寧に行っている。	
		(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			連絡帳や送迎時、また必要時面談を行い、悩み事や困りごとについて共有し、相談や助言を行っている。	
		(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2	新型コロナの影響もあり、今年度は行っていない。	

護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			その日のうちに事態の把握をし、出来る限りその日のうちに説明、理解を得られるようにしている。
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		会報の発行はしていないが、紙によるイベントの告知やSNSによる活動内容の発信を行っています。
	(35)	個人情報に十分注意しているか	4			毎年の研修項目に必ず取り入れ、個人情報の取り扱いには十分注意している。
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			児童や保護者に分かりやすく伝えられるよう次回利用について予定をお伝えしたり、メモを直接お渡ししています。
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	公園などで地域の方に挨拶をしている。新型コロナの影響もあり、「招待する」といったイベントは行っていない。
非常時の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		1	それぞれマニュアルを策定し、対応については保護者へ書面でお知らせしています。
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			多機能型施設として、年2回避難訓練を行っています。
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			代表者が県の虐待防止・権利擁護研修に参加し、社内研修にて伝達研修を実施し適切な対応を行っている。
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			必要な場合があると検討した場合に、保護者へ予想する状況や対応を説明し、同意を得て記載している。
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1		3	保護者からの情報に基づき対応している。
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			他事業所とも共有し、所内でも共有できるよう意識している。

